

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3400円
日曜版1カ月 800円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943

赤旗読者に配達

発行

日本共産党・手良支部

野口公民館竣工

「野口いきいき交流施設（愛称 野口公民館）」が昨年十二月に竣工になりました。

十二月十七日には野口高齢者クラブが「落語と新そばの会」を開いて使

野口公民館は市内二十力所の交流施設で最大規模といわれ、木造平屋建

面積373・47㎡（約113坪）。全面バリアフリー化

会議室、調理室、ホールが設けられ、洗面所・厨房

総事業費は約7800万円

「地域介護・福利空間整備等施設整備交付金」3000万円



竣工なった野口公民館

間整備推進交付金」300万円を受け、公民館の特別積立金140万円、地元企業の協力金などの水利積立など1500万円があり、一戸あたりの負担は13万円ほどになるそうです。

新しい伊那消防署のボーリング調査

新しい伊那消防署の予定地「富士塚グラウンド北側」で、深さ50mまでボーリング調査を行うこととなりました。

昨年6月議会で「近くに活断層があるので、地質の調査を深さ30mまで行うべき」と質問しました。その後、地質の専門家北澤賢樹さんから「ボーリングは深さ50mまで行うべき」と意見が寄せられ、伊那消防組合長と伊

ひろみ通信

165

那消防署長に伝えました。6月市議会の前には、

周辺の公共施設のボーリング調査資料を探しました。県伊那文化会館や市民体育館、伊那中学校のボーリングデータを、北澤さんに見てもらって質問しました。

その後、富士塚グラウンドのデータもあることがわかり、伊那消防組合に届けました。深いもので20mまででした。

市の体育館のデータはなかなか見つからず、県の体育館のデータを照会したところ「市民体育館のデータを使用した」と県庁まで行って判り、市

六月以降はどつする
手良カソリンスタンド

地下タンクの油漏れ事故が近年多くなっています。2010年6月に消防法が改正され、埋設後40年を超えた地下タンクなどは油漏れを防ぐために内面に繊維強化プラスチックで加工（内面ライニング）するか、地下に電極を埋め込み電流を流す（電気防食）ことで腐食を防止する対策が義務付けられ、改修の猶予期限である平成25年2月が近づいています。

J A手良事業所のガソリンスタンドは現在民間に委託されていますが地下タンクは3カ所とも昭和37年に造られているため、調査をしているだけです。昨年、東部中学校の裏の崖を工事した際に、地質調査が行われました。6千万年前まで見られるとのこと。調査結果は、創造館に保管してあるそうです。昔は河原だったと。その後、御岳山などの火山灰層が幾重にも降り積もっています。地質学はおもしろいものです。2013年1月15日 柳川ひろみ

手良にも活断層

伊那市の防災マップには、手良の活断層も掲載されています。ご覧になりたい方は、支所にお問い合わせください。ただ、マップにないからと言って活断層がないとは言えません。活断層は、崖などで地層が見えた場所

調査をしていただけです。一昨年、東部中学校の裏の崖を工事した際に、地質調査が行われました。6千万年前まで見られるとのこと。調査結果は、創造館に保管してあるそうです。昔は河原だったと。その後、御岳山などの火山灰層が幾重にも降り積もっています。地質学はおもしろいものです。2013年1月15日 柳川ひろみ

め対策の対象になります。内面ライニングでは50万円位、電気防食の場合には250万円位かかるといわれています。手良のガソリンスタンドも近年通勤者は他所で給油する人が多くなり利用者は減少しています。しかし高齢者からは是非存続してほしいという声もあります。J A手良事業所では現在の状況では早速対策の工事を行うことが出来ず、6月いっぱいには方向を出したいとしています。

新年おめでとごさい
日本共産党手良支部

昨年の総選挙には多くのおみなさんからご支持とご協力をいただきました。残念な結果に終りましたが、来年の総選挙には多くのおみなさんからご支持とご協力をいただきます。また、日本共産党の立場は「国民の苦難の軽減」にあります。高齢社会を迎えて手良地区でも様々な問題が起きています。地域のみなさんのお声をよく聞き、お力をよく借り、地域の発展のために頑張りたいです。また、今年7月に参議院選挙があります。みなさんの思いや願いをかなえるためにも日本共産党手良支部は頑張り支えたいと思います。ご支援ご協力をいただき、よろしくお願いいたします。

いつの間にか周りに空き家が増えている。高齢者となり家から離れた所に住んでいる子ども達にひきとられていくのだ。手良でも高齢化社会がじわじわと進行している。そんな中で高齢者に優しい空間である「野口いきいき交流施設」が完成したことは喜ばしい。J A手良事業所のガソリンスタンドも六月以降は続けるか廃止にするかが迫られるが、高齢者の要望はどうしたらいいのか。昨年夏、雑貨屋さんが店を閉じ手良では食料品や雑貨を扱っているのは原町の酒井商店だけになった。高齢者は助かっているが、小規模でも高齢者のニーズに答えなければならぬので仕入れには細かな心配りをしていくとのこと。ありがたいことである。手良管農組合は法人化の課題もあるが農業が出来なくなつた高齢者の農地の管理も大きな問題であると思われる。いずれも個々では解決できない問題ばかりである。根本的には社会の仕組みの問題でもある。七月の参議院選挙にはこれらの問題が解決できる方向に政治を転換しなければ。（T）



ボーリング調査

手良はどうして竹細工が地場産業にならなかったの？

昨年12月24日の信濃毎日新聞に「松本地方伝統のスタケを編んで作る『みすず細工』の材料は伊那市手良中坪とあつたので触発されて考えた。」

美篤村誌編集委員会の発行になる「みすず」の成立と発展」によると「美篤で竹細工を始めた歴史は詳らかでないが、江戸期享保のころ凶作の対策の一助として取り入れられたものだといわれている。産地は上川手、下川手、青島の三部落である。美篤地区は山地が少ないので、原料の篤竹は西山、手良山方面にも

とめたのであるが、原料の欠乏につれ、遠く静岡県方面より共同購入して製造している」と記録されている。

最近発行された「手良誌」には「スタケは手良の国有林に多く、許可を得て採取したが、竹細工は手良よりもむしる美篤の川手地区のほうが盛んだった」とあるが手良で竹細工が地場産業として存在した記事は見当たらない。

他所からも採りに来るくらい竹細工の材料であるスタケが豊富に産出されたであろう手良地区にどうして竹細工が地場産業にならなかったのだろうか。知りたいと思う。(T)

生活雑記 106

今年も宜しく

お願いします

小松利江

年明けから寒い寒い日が続いて、これで大雪に見舞われたらどうしよう、そんなことにならないで今年一年が無事でありませよ。

今年、夫の三回忌が来る。早いなあ、一日が暮れるたびに、だんだん遠くへ離れていってしまふような気がして淋しい。思い切って今年こそ夫の遺品を整理しよう。

法人化は時期尚早か

手良営農組合

平成18年10月26日に設立した手良営農組合(現任組合員179名)は農地を、効率的に維持管理し続けるために5年以内の法人化を目指してきました。

そのため昨年11月上旬、中旬に8カ所で開催し、組合員から4回目の意向調査を行いました。

調査の結果は法人参加希望者は89名、農地が約10haとなりました。役員会では現時点での法人化は時期尚早と思わ

れるが、水田(地目)の白紙貸付希望面積が6.6haあり、25年度は任意の組合で耕作すべく、2月上旬に全体会議を開催し、地主組合員との協議を進めたいとしています。

手良小学校PTA支部が主催して今年も一月十日を中心各区分でどんど焼きが行われました。凍みる朝でしたが中坪では運動公園で行われ子ども達や父母など約80人が参加しました。

今年もどんど焼き

八時には雪を掻いた上に積まれた注連飾りやだるまに火がつけられ勢いよく燃え上がりました。ナスも要求までは届かなくても年々上がって行くものと思っていたし、働く者の権利を認めさせる頑張りがあった時代だった。

四十年前の給料が今の派遣社員やパートで働く人達の給料と変わっていない現実をみた気がした。政局が変わって本当に給料が上がるの、

今年最初の

「わいわいクラブ」

一月九日、今年最初の「わいわいクラブ」が手良公民館で行われました。今年度二回目となる「キッズビクス」は昨年五月にも行われ、前回同様講師の先生にお越しいただき、小さい子どもや親子でも楽しく体操ができるとても人気の企画です。

この日は十組の親子が参加し、日頃の運動不足を解消しようとお母さん

たちも張り切っていました。音楽に合わせて体を動かしたりロープを使って綱渡りをしたり、電車になって走ったり、子どもたちも大喜びでした。

今年度は二月に豆まきや身体測定、三月はお別れ会と残すところ三回となりました。

随時参加できますので、ご興味ありの方は手良公民館までお問合せください。(絢)



わいわいクラブ



中坪のどんど焼き

持参した餅網で餅を焼いて食べましたが、どんど焼きで出来たおきで餅を焼いて食べると、その年は風邪をひかないと「手良誌」には載っています。

絵手紙カレンダーを作りました

絵手紙の会 ふきぼこ

毎月、本紙に作品を掲載していただいている絵手紙の会です。平成二十三年九月に始

「絵手紙教室」を始めました



向山智恵子

連絡先 高橋 (七八〇九四三)

まり、中坪公民館で毎月講師の先生の指導を受けながら楽しんで続けてきました。

会員も八名に増え会の名前を今度「手良絵手紙の会 ふきぼこ」と決めました。

去る十二月の例会では希望でカレンダー作りに取り組み、全員の皆さんの作品から二種類のカレンダーが出来上がりしました。

家族にも好評で、新年を迎え、また気分も新たに楽しくいろいろのことに取り組んでいきたいと思っています。(き)



絵手紙カレンダー

(おねがい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。七八〇九四三 高橋



短歌

演芸大会

高橋 忠

根が岩を挟みて立てる木のありしこんな場所にも生きねはならぬ 幼子は歌ひ終はりてすぐ屈みおひねり拾ふ演芸大会 西日射す招魂碑前追悼式餓島(ガタルカナル)にて叔父は死したり 草刈の汗をシャワーで流し去り歌会に行く心はずませ また一軒地域の雑貨屋を閉す路傍のコスモス咲くを待たずに